

麻しん対策で効果的だったポイント  
(厚労省調べ、接種率上位の自治体より聴取)

第3期(中学1年生相当)

- 前年度末、年度初め早々の個別通知
- 個別接種のみで対応の自治体の場合
  - ・ 未接種者の把握 ⇒ 個別の勧奨を繰り返し実施
  - ・ 学校からの積極的な複数回の勧奨
  - ・ 学校との十分な連携: 未接種者の把握ができない自治体も学校との十分な連携で対処
- 集団の場を用いた接種の併用
  - ・ 集団接種の場として学校を提供
  - ・ 接種漏れ者には個別の対応で接種を徹底

Company Name

麻しん対策で効果的だったポイント  
(厚労省調べ、接種率上位の自治体より聴取)

第4期(高校3年生相当)

1. 個別接種での対応が主の場合
  - ・ 未接種者の把握 ⇒ 繰り返しの個別の勧奨(未接種者の把握ができない自治体でも学校との連携で対処)
  - ・ 学校からの繰り返しの勧奨・確認
  - ・ 学校との十分な連携
    - × タイミングを逃さない通知(夏休み前、冬休み前、スポーツイベント等)
    - × 市と学校が通知のタイミングを同期させ、そのタイミングで接種医療機関が診療曜日・時間を拡大して待機
  - ・ 接種期間の限定(短期集中型の接種)
    - 4~6月のみ、あるいは夏休み期間のみ、日程を指定等
2. 集団の場を用いた接種の併用  
接種の場: 保健所・保健センター、医療機関、学校

Company Name